

# 第8回 豊川市交通協議会 資料

## <目 次>

1. 【報告事項（1）】豊川市地域公共交通計画の進捗状況等
2. 【報告事項（2）】豊川市総合交通戦略策定の進捗状況
3. 【報告事項（3）】令和7年度デマンド型交通実証実験の進捗状況
4. 【協議事項（1）】地域公共交通確保維持改善事業等の評価

令和7年12月24日

1. 【報告事項(1)】豊川市地域公共交通計画の進捗状況等

1-1. 豊川市地域公共交通計画の進捗状況

豊川市地域公共交通計画で掲げる事業の進捗状況は以下のとおり。

事業の実施主体とスケジュール

項目	概要	実施主体	実施スケジュール					
			R3	R4	R5	R6	R7	
公共交通路線関連事業	① 基幹路線の改善・運行	移動ニーズ対応	豊川市 交通事業者					
	② 地域路線の改善・運行	移動ニーズ対応	豊川市 地域 交通事業者					
	③ 交通結節点の整備	ベンチ等の整備	豊川市 交通事業者					
利用促進関連事業	④ バス停の待合環境改善	ベンチ等の整備 バスロケーションシステム導入等	豊川市 交通事業者					
	⑤ 新たな料金体系制度の導入	料金体系の一体化	豊川市 交通事業者					
	⑥ 新たな料金支払方式の導入	定期券導入 QRコード決済等導入	豊川市 交通事業者					
	⑦ 公共交通案内の充実	時刻表等の作成 乗換案内の充実 バス誘導サイン等の充実	豊川市 地域 交通事業者					
	⑧ 周知・広報活動の実施	ホームページ、チラシ、ポスター等による周知イベント実施・啓発	豊川市等 地域 交通事業者					
	⑨ 利用促進活動等の実施	イベント実施等	豊川市 地域 交通事業者					
	⑩ 事業評価の実施	乗降調査等の実施 事業評価の実施	豊川市 地域 交通事業者					
その他事業	⑪ 新規移動手段の導入検討	デマンドタクシー実証実験の検討	豊川市 交通事業者					
		ボランティア輸送制度等の導入検討	豊川市 地域					

⑧周知・広報活動の実施

- (1) 令和7年11月2日(日)
  - ・「本宮まつり」にてデマンド型交通実証実験「おためしカー」について周知した。
  - ・チラシを250枚配布。



本宮まつりでの「おためしカー」周知の様子

⑨利用促進活動等の実施

- (1) 令和7年11月21日(金)、11月28日(金)、12月5日(金)
  - ・豊川市生涯学習まちづくり出前講座(豊川市コミュニティバス乗り方教室)を実施した。
  - ・介護高齢課と連携し、座学及びバスの体験乗車をおこなった。(受講者:9名 場所:平尾地区市民館)



豊川市生涯学習まちづくり出前講座(豊川市コミュニティバス乗り方教室)の様子

- (2) 令和7年12月5日(金)
  - ・自動運転バスのスマートフォン予約をサポートするため、「スマホ教室」をイオンモール豊川にて実施した。
- (3) 令和7年12月6日(土)
  - ・自動運転バスを始めとする公共交通のPRのため「豊川市公共交通フェスタ」をイオンモール豊川にて開催した。
  - ・名古屋鉄道株式会社、豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊鉄タクシー株式会社、豊川タクシー株式会社、東宝交通株式会社、愛知県東三河総局、愛知県警察、豊川警察署、豊川市人権生活安全課、NTTドコモビジネス株式会社がブース出展。
  - ・グッズ販売、こども制服着用体験、バス・タクシー乗車体験、交通安全教室、自動運転バスへの装飾参加企画、スタンプラリー企画等を実施した。
  - ・来場者数650名超
- (4) 公共交通利用促進ポスターコンクール(東三河地域公共交通活性化協議会)
  - ・令和7年7月19日(土)から8月31日(日)まで実施した。
  - 応募数:148件(うち豊川市36件)

※東三河地域における公共交通活性化を図る目的で設置された協議会。東三河8市町村により構成。

## 1-2. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

豊川市コミュニティバス全10路線の合計利用者数の推移は以下のグラフのとおり。

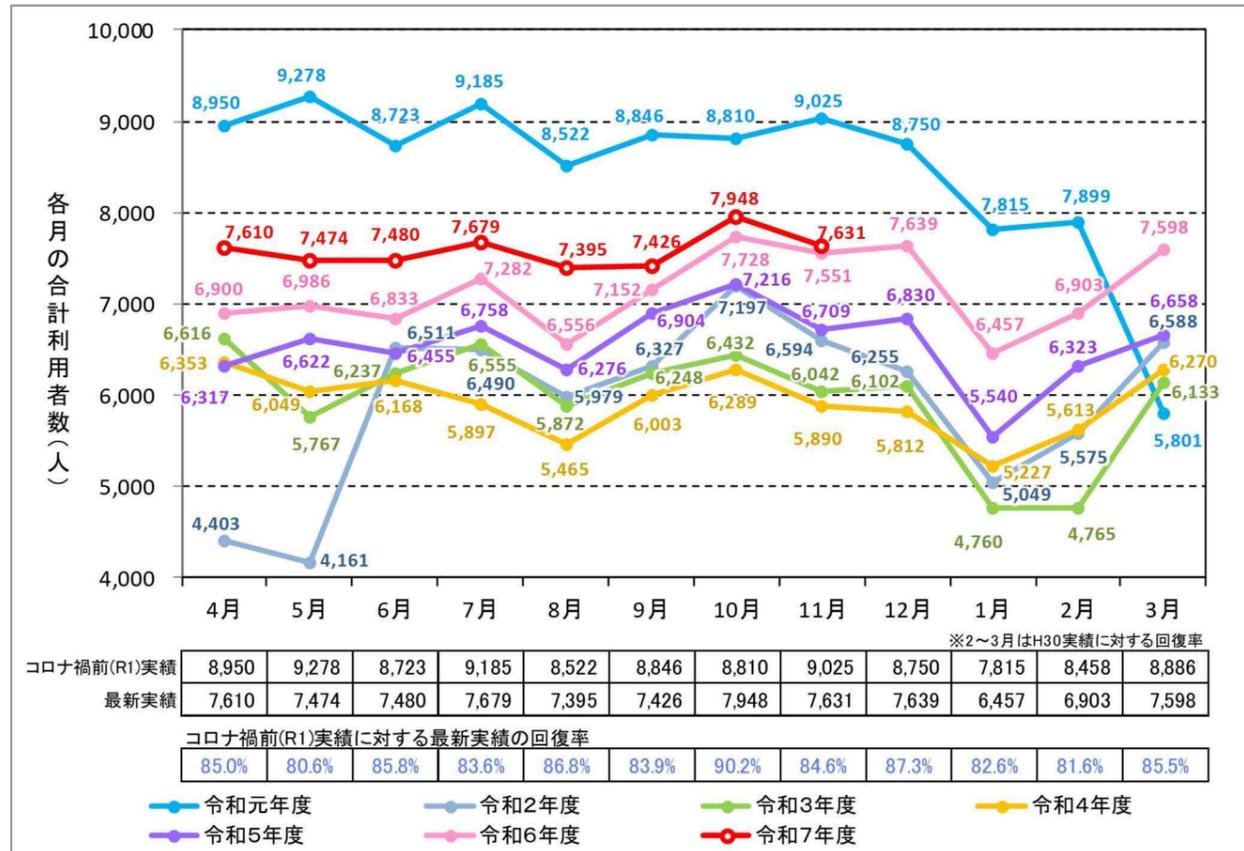


図1-1：豊川市コミュニティバス利用者数の推移

### ※ 路線の主な見直し

- 平成24年10月 1日：一宮地区地域路線の路線変更  
(2路線<東回り、西回り>に1路線<中回り>追加)
- 平成24年10月 1日：御油地区地域路線の運行開始
- 平成25年 5月 1日：豊川市民病院の移転に伴う路線再編  
(豊川国府線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線の豊川市民病院経由)
- 平成28年10月 1日：ダイヤ及び運賃体系の変更  
(豊川国府線、音羽線、御津線の豊川市民病院以東を減便、豊川市民病院以西を増便。共通ゾーン設定。)
- 令和 3年10月 1日：路線及びダイヤの変更  
(豊川国府線、音羽線、御津線の豊川市民病院以東を廃止。豊川国府線の姫街道以北をゆうあいの里小坂井線へ移管し、豊川国府線をゆうあいの里八幡線、ゆうあいの里小坂井線を小坂井線に名称変更。)
- 令和 5年3月30日：イオンモール豊川開業に伴う路線延伸  
(ゆうあいの里八幡線、小坂井線、音羽線、御津線をイオンモール豊川へ延伸。)
- 令和 7年4月 1日：千両三上線ルート変更

## 1-3. 路線別の利用者数推移

令和5年4月にイオンモール豊川の開業、また、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、基幹路線を中心に利用者数が増加。

表1-1：令和5年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和5年度合計	増減数	増減率
ゆうあいの里八幡線	926	1,017	1,004	906	856	1,202	1,068	909	891	809	961	945	11,494	+1,928	+20.2%
千両三上線	875	956	975	1,026	1,001	1,022	1,088	894	901	695	814	869	11,116	+1,458	+15.1%
小坂井線	556	527	563	538	535	538	578	580	574	466	612	634	6,701	+285	+4.4%
一宮線	1,142	1,219	1,074	1,186	1,034	1,154	1,346	1,307	1,297	1,009	1,177	1,294	14,239	+2,726	+23.7%
音羽線	747	727	716	803	759	779	838	816	906	709	721	783	9,304	+650	+7.5%
御津線	464	467	482	540	565	560	548	465	514	422	459	501	5,987	+1,385	+30.1%
つつじバス (音羽地区地域路線)	775	812	781	860	760	725	805	770	805	617	703	707	9,120	+83	+0.9%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	230	251	264	243	153	284	295	302	266	254	284	238	3,064	+586	+23.6%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	258	257	247	248	233	246	243	331	306	277	303	320	3,269	-214	-6.1%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	344	389	349	408	380	394	407	335	370	282	289	367	4,314	-1,315	-23.4%
合 計	6,317	6,622	6,455	6,758	6,276	6,904	7,216	6,709	6,830	5,540	6,323	6,658	78,608	+7,572	+10.7%

表1-2：令和6年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和6年度合計	増減数	増減率
ゆうあいの里八幡線	949	1,045	859	799	810	1,147	1,211	1,078	1,077	1,085	999	932	11,991	+497	+4.3%
千両三上線	1,007	1,021	995	1,170	1,034	983	1,116	1,046	1,060	879	946	1,068	12,325	+1,209	+10.9%
小坂井線	656	652	626	771	743	777	795	751	721	643	680	720	8,535	+1,834	+27.4%
一宮線	1,275	1,282	1,358	1,323	1,135	1,210	1,271	1,396	1,457	1,110	1,362	1,503	15,682	+1,443	+10.1%
音羽線	767	785	816	886	773	829	873	825	900	621	724	891	9,690	+386	+4.1%
御津線	512	475	542	492	536	492	559	533	539	478	537	627	6,322	+335	+5.6%
つつじバス (音羽地区地域路線)	773	759	739	857	786	776	886	886	950	804	805	928	9,949	+829	+9.1%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	252	273	259	262	112	283	281	303	239	237	239	208	2,948	-116	-3.8%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	328	328	233	306	230	290	281	317	287	280	274	339	3,493	+224	+6.9%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	381	366	406	416	397	365	455	416	409	320	337	382	4,650	+336	+7.8%
合 計	6,900	6,986	6,833	7,282	6,556	7,152	7,728	7,551	7,639	6,457	6,903	7,598	85,585	+6,977	+8.9%

表1-3：令和7年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和7年度合計	増減数	増減率
ゆうあいの里八幡線	876	982	1,066	962	955	1,133	1,168	1,081					8,223	+325	+4.1%
千両三上線	1,048	950	1,029	1,141	1,008	952	1,064	997					8,189	-183	-2.2%
小坂井線	763	706	817	827	782	850	843	752					6,340	+569	+9.9%
一宮線	1,513	1,523	1,234	1,399	1,439	1,238	1,306	1,446					11,098	+848	+8.3%
音羽線	902	837	901	867	884	833	967	972					7,163	+609	+9.3%
御津線	668	576	621	685	729	636	682	611					5,208	+1,067	+25.8%
つつじバス (音羽地区地域路線)	889	879	884	884	848	827	829	789					6,829	+367	+5.7%
ハートフル号 (御津地区地域路線)	264	324	325	253	144	334	409	336					2,389	+364	+18.0%
本宮線のんほい号 (一宮地区地域路線)	314	323	250	252	235	229	245	279					2,127	-186	-8.0%
ごゆりんバス (御油地区地域路線)	373	374	353	409	371	394	435	368					3,077	-125	-3.9%
合 計	7,610	7,474	7,480	7,679	7,395	7,426	7,948	7,631	0	0	0	0	60,643	+3,655	+6.4%

(※) R6との比較は、令和6年度4月～11月と令和7年度4月～11月との比較

— 前年比10%以上増加

## 2. 【報告事項（2）】豊川市総合交通戦略策定の進捗状況

- ・令和7年10月29日（水） 第7回豊川市交通協議会（書面開催）にて、豊川市総合交通戦略（案）の内容が承認された。
- ・令和7年11月 7日（金）～11月17日（月）まで庁内パブリックコメント実施。下表左のとおり意見が挙げられ、右のとおり対応した。

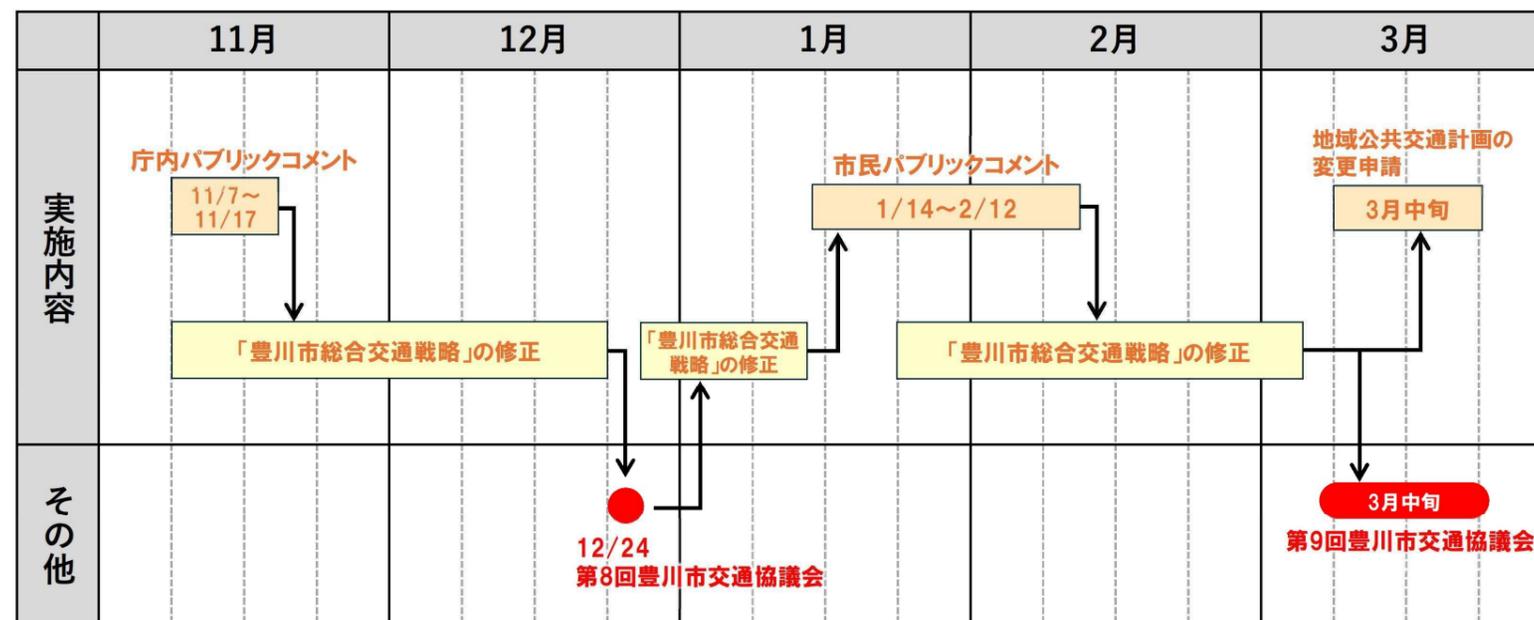
対象箇所 頁	意見等の概要	意見への対応
全体	P. 30の実施スケジュールの表の凡例にある黄緑色の「拡充」の文字が、アクセシビリティ的に見辛い。色覚的な弱者の方には判読が困難ではないか。もう少し、白い地色に対してのコントラストが高い配色にしてはどうか。 これ以前や、以降のページでも、コントラスト的に、可読性に支障がある色使いが、所々あるように思うので、視覚に障害をお持ちの方への配慮を。	ご意見を踏まえ、愛知県の「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」を参考に、図や文字の配色を見直しました。
P. 3	突然、SDGsのことが載っているように感じましたが、掲載する場所はここが適切でしょうか。	ご意見を踏まえ、P. 25「各施策と関連するSDGs」の前のページへの掲載に見直しました。
P. 3	突然、「障害」の標記についての説明がありますが、掲載する場所はここが適切でしょうか。	「障害」の標記についての説明は削除しました。
P. 5	「少子・高齢化」という表記は適切ですか。	ご意見を踏まえ、都市・地域総合交通戦略の目的に合わせ、「少子・超高齢化」に見直しました。
P. 6	「第7次豊川市総合計画」の下に、さらに基本構想と基本計画を書き出していますが、必要ですか。（「第7次豊川市総合計画」だけでよいのでは。）	ご意見を踏まえ、基本構想と基本計画を削除しました。
P. 7	観光施設名として「赤塚山公園」の表記は必要ありませんか。（バス停名は「ぎょぎょランド」だが…。） また、行政が作成する計画書に民間商業施設の名称が載っていることがあまりないかと思えます。おそらくバス停の名称を掲載しているものと思われそうですが、であればその旨を注意書きなどで記載した方が、読み手に違和感がないと思えます。	ご意見を踏まえ、「赤塚山公園（ぎょぎょランド）」に見直しました。 また、民間商業施設については「大型商業施設」に見直しました。
P. 15	タクシーの欄にある「ドア・トゥー・ドア」という表記は適切ですか。	ご意見を踏まえ、国土交通省の手引きに合わせ「ドアツードア」に見直しました。
P. 18	ゆうあいの里線において、ぎょぎょランド（赤塚山公園）も主要な目的地かと思えますが、説明に記載する必要はありませんか。	ご意見を踏まえ、「赤塚山公園（ぎょぎょランド）」を追加しました。
P. 19	基本方針1で「賑わい」という表記がありますが、P. 14の将来像では「にぎわい」と平仮名で記載されています。意図的に使い分けているのでしょうか。	使い分けはありませんので、ご意見を踏まえ、全て「にぎわい」に見直しました。
P. 20	「1 駅前空間の高質化」として「豊川稲荷前の基盤整備に合わせて豊川駅前を再整備」と記載がありますが、現時点で門前基盤整備として実施計画事業となっている内容のほかに、計画期間の10年間で具体的な整備予定があって掲載するのですか。	豊川駅の駅前広場の再整備の検討をしますが、具体的な整備予定ではないため「豊川駅前の再整備を検討」に見直しました。
P. 21	イメージ図について、このイラストだと、幅員7m歩道なしの道路を、歩道を設けずに幅員16mに拡幅する事業を行う（行った）ような誤解を与えてしまいませんか。	ご意見を踏まえ、整備後のイラストに歩道を追加しました。
P. 24	施策31「高齢者交通料金助成事業の推進」の概要に「70歳以上の低所得者への豊鉄バス・コミュニティバス共通回数券の交付、タクシー券の配布等新たな料金助成の検討」と、他の施策に比べてかなり詳細な検討案が記載されており、具体的に検討が進んでいるような誤解を与えてしまうことが懸念されますので、他の施策と同レベルでの記載に見直しをお願いします。	ご意見を踏まえ、「高齢者へのコミュニティバス回数券の交付、タクシー券の配布等新たな料金助成の検討」に見直しました。

対象箇所 頁	意見内容	意見への対応
P. 26	表の下に「※新規移動手段は、デマンド型交通（通常タクシー利用に対する補助）を想定」とありますが、P. 15で既に説明してあるので、記載は必要ないのではありませんか。 または、本ページに※の説明を記載したいのであれば、本文中に※を追記する必要がありますか。	ご意見を踏まえ、本ページの記載を削除しました。
P. 28	『とりくみ（名詞）』が、「取組」と「取り組み」が混在していますので、改めて確認をお願いします。	ご意見を踏まえ、『とりくみ（名詞）』は全て「取組」に見直しました。
P. 31 ～41	全体及び各地域ごとの実施スケジュールの表部分について、グレーの背景に「※通年継続実施・検討」という表示が並んでいるが、30ページの凡例には解説されておらず、それとは別の行では、R8などの表記の下に1マスずつグレーに塗られた表記があり、違いがわからない。グレーは実施、白は実施しないと想像されるが、「※通年継続実施・検討」もグレーに塗ってあり、8～17まで通年継続実施されるのか、しないけど検討はするのか、どちらかわからない。 また、「※通年継続実施・検討」の前の「事業完了目標」の欄が、短期のものと中期のものとどちらであっても、8～17までグレーの背景に「※通年継続実施・検討」の表記は同じであり、短期と書いてあるのに、17年まで、もしくは17年以降も「通年継続」で実施されるのかと、余計にわからなくなった。30ページに余白が十分あるので、この実施スケジュールの見方（凡例）の解説を丁寧にしたほうが良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、実施スケジュールについては、実施期間を矢印表示に見直しました。 あわせて、30ページに矢印に関する凡例を加えました。ハード的な整備施策は実線で期間を示し、計画期間にわたって適宜見直しをしながら進める施策は破線とし「通年継続」としました。
P. 32 ～41	広域交流軸（道路）が図上にないですが、P. 14で位置付けているので、地域別の図にも掲載が必要ではありませんか。	ご意見を踏まえ、地域別の図にも掲載しました。
P. 32	「（1）豊川駅周辺機能強化パッケージ」の3つ目の項目中「共同化民間事業」という記載がありますが、間違いではありませんか。（読点が抜けている？）	ご意見のとおり、「共同化、民間事業」に訂正しました。
P. 32	「（1）豊川駅周辺機能強化パッケージ」の7つ目の項目中「パーク・アンド・ライド」という記載がありますが、用語解説では「パークアンドライド」と掲載していますので、統一をお願いします。（なお、第7次総合計画ではパークアンドライド」と掲載しています。）	ご意見を踏まえ、「パークアンドライド」に見直しました。
P. 33	「（1）牛久保駅周辺機能強化パッケージ」の2つ目の項目に密集市街地に関する取組が記載されていますが、当該地区における実際の事業のフェーズと「強化パッケージ」という題目に相違はないか、事業担当課に改めてご確認ください。	都市マスに合わせ、「防災性の向上に向けた密集市街地整備事業を推進します。」に見直しました。
P. 34	「（1）八幡駅周辺機能強化パッケージ」の1つ目の項目に「中心拠点の交通結節機能の強化を図ります。」という記載がありますが、当該地区に中心拠点は含まれていないのではないですか。	ご意見のとおり、「中心拠点」を「地域拠点」に訂正しました。
P. 34	「（2）移動手段確保パッケージ」に「既存路線のルート改善や新規移動手段の導入を検討し、移動手段の確保に取り組みます。」という記載がありますが、当該地区の移動手段の確保に取り組むことが決定事項のような誤解を与えかねないので、例えば「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善や新規移動手段の導入などを検討します。」など、表現を見直した方がよいと思います。	ご意見を踏まえ、「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善や新規移動手段の導入などを検討します。」に見直しました。
P. 34	図に新路線案が載っていますが、検討の進捗状況を踏まえて掲載できる段階か、改めて精査をお願いします。（※で書かれている新路線案に関する注意書き、他のページでもいくつか掲載されていますが、内部事務的な内容が書かれているので、市民向けのパブリックコメントでは載せないという認識でよいですか？）	交通協議会では※で書かれている注意書きを含め承認となっているため掲載します。

対象箇所	意見内容	意見への対応
頁		
P. 35	<p>「(1) 国府駅周辺機能強化パッケージ」の4つ目の項目に「複数の路線があり、乗り継ぎがわかりづらいため、デジタルサイネージの設置を検討します。」という記載がありますが、他と比べて検討内容の記載が具体的で誤解を与えてしまうことが懸念されますので、他と同レベルでの記載に見直しをお願いします。</p> <p>また、「複数の路線」と書かれていますが、鉄道路線、バス路線のどちらのことかわからないので、上記見直しを踏まえて何かしら掲載するようであれば、合わせて記載内容の検討をお願いします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「乗換案内を充実させるため、デジタルサイネージ等の設置を検討します。」に見直しました。</p>
P. 36	<p>「(2) 移動手段確保パッケージ」に「既存路線のルート改善を検討し、移動手段の確保に取り組みます。」という記載がありますが、当該地区の移動手段の確保に取り組むことが決定事項のような誤解を与えかねないので、例えば「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善などを検討します。」など、表現を見直した方がよいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善などを検討します。」に見直しました。</p>
P. 36	<p>図に新路線案が載っていますが、検討の進捗状況を踏まえて掲載できる段階か、改めて精査をお願いします。</p>	<p>交通協議会では※で書かれている注意書きを含め承認となっているため掲載しません。</p>
P. 37	<p>「(1) 移動手段確保パッケージ」に「既存路線のルート改善を検討し、移動手段の確保に取り組みます。」という記載がありますが、当該地区の移動手段の確保に取り組むことが決定事項のような誤解を与えかねないので、例えば「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善などを検討します。」など、表現を見直した方がよいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善などを検討します。」に見直しました。</p>
P. 37	<p>図に新路線案が載っていますが、検討の進捗状況を踏まえて掲載できる段階か、改めて精査をお願いします。</p>	<p>交通協議会では※で書かれている注意書きを含め承認となっているため掲載しません。</p>
P. 38、 39	<p>音羽、一宮の掲載順でよいですか。(例えば都市マスでは、合併順を踏まえて一宮、音羽の順です。)</p>	<p>ご意見を踏まえ、一宮、音羽の順に見直しました。</p>
P. 38	<p>「(2) 移動手段確保パッケージ」に「既存路線のルート改善や新規移動手段の導入を検討し、移動手段の確保に取り組みます。」という記載がありますが、当該地区の移動手段の確保に取り組むことが決定事項のような誤解を与えかねないので、例えば「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善や新規移動手段の導入などを検討します。」など、表現を見直した方がよいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「移動手段の確保のため、既存路線のルート改善や新規移動手段の導入などを検討します。」に見直しました。</p>
P. 38	<p>移動手段確保パッケージにルート改善の検討を載せている他地区では、図に見直し路線案を掲載しているようですが、当該地区には載っていません。使い分けがあるのですか。(そもそも、コンセンサスが得られていない(?) 見直し案を計画書に載せるのかという疑問もありますが…。)</p>	<p>コンセンサスが得られていないため掲載していません。ご意見を踏まえ、「既存路線のルート改善や新規移動手段の導入を検討します。」に見直しました。</p>
P. 39	<p>「(2) 移動手段確保パッケージ」に「既存路線のルートやサービス水準の改善を検討します。検討にあたっては、一宮地区の公共施設再編整備基本計画と連携して、移動手段の確保に取り組みます。」という記載がありますが、当該地区の移動手段の確保に取り組むことが決定事項のような誤解を与えかねないので、例えば「一宮地区の公共施設再編整備基本計画と連携して、既存路線のルートやサービス水準の改善を検討します。」など、表現を見直した方がよいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「一宮地区の公共施設再編整備基本計画と連携して、既存路線のルートやサービス水準の改善を検討します。」に見直しました。</p>
P. 39	<p>図に新路線案が載っていますが、検討の進捗状況を踏まえて掲載できる段階か、改めて精査をお願いします。</p>	<p>交通協議会では※で書かれている注意書きを含め承認となっているため掲載しません。</p>
P. 40	<p>「(1) 愛知御津駅周辺機能強化パッケージ」の2つ目の項目中「パーク・アンド・ライド」という記載がありますが、用語解説では「パークアンドライド」と掲載していますので、統一をお願いします。(なお、第7次総合計画ではパークアンドライド」と掲載しています。)</p>	<p>ご意見を踏まえ、「パークアンドライド」に見直しました。</p>

対象箇所 頁	意見内容	意見への対応
P. 4 1	「(1) 伊奈・西小坂井・小坂井駅周辺機能強化パッケージ」の1つ目の項目に「関連する道路整備の課題などを検討します。」という記載がありますが、「検討する」のは「対策」ではありませんか。	ご意見を踏まえ、「関連する道路整備の課題などを整理し対策を検討します。」に見直しました。
P. 4 1	「(1) 伊奈・西小坂井・小坂井駅周辺機能強化パッケージ」の2つ目の項目に「伊奈駅における送迎スペースや自転車駐車場などの整備を行うことで、交通結節点の機能強化を図ります。」という記載があり、駐輪場整備は小坂井中学校の建替と合わせて実施する方向性があったかと思いますが、送迎スペースの整備は決定事項でしょうか。また、対応する施策に7が載っていますが、下の表では7は西小坂井駅と記載されていますので、誤りかと思えます。	送迎スペースの整備は決定事項です。 対応する施策7は、ご意見のとおり誤りのため削除しました。
P. 4 1	「(1) 伊奈・西小坂井・小坂井駅周辺機能強化パッケージ」の4つ目の項目中「パーク・アンド・ライド」という記載がありますが、第7次総合計画では「パークアンドライド」と掲載していますので、改めて確認をお願いします。	ご意見を踏まえ、「パークアンドライド」に見直しました。
P. 4 1	「(1) 伊奈・西小坂井・小坂井駅周辺機能強化パッケージ」の5つ目の項目に「豊川宿長者松土地区画整理事業を支援することで、都市機能の改善と健全な住環境の整備を図ります。」という記載がありますが、土地区画整理事業の事業認可と計画の公表時期のタイミングを踏まえて記載内容が妥当か、事業担当課に改めてご確認ください。	令和8年度予算で区画整理事業費として計上するため記載します。ただし事業名を「(仮称)豊川宿長者松土地区画整理事業」に見直しました。
P. 4 2	「4-2 評価方法」の「(1) 総合交通戦略の評価」の項目中に「目標指標の達成状況と確認指標の検証し」とありますが、表現に誤りはありませんか。(「確認指標“を”検証し」か?)	ご意見のとおり、「確認指標を検討し」に訂正しました。
P. 4 2	「4-2 評価方法」の「(2) 各施策の評価」とありますが、書かれている内容が評価のことではないので、記載内容の見直しが必要かと思えます。	ご意見を踏まえ、「各施策の実施状況の把握は、事業全体の実施状況を可視化するチェックシートを関係者間で作成して確認し、総合交通戦略の評価の補足情報として施策の進捗の評価を実施します。」に見直しました。
P. 4 2	「4-3 評価スケジュール」の項目中に「令和12年度を中間見直し年度」とありますが、送り仮名が抜けていませんか。(中間見直し年度)	ご意見のとおり、「中間見直し年度」に訂正しました。
P. 4 6	本計画には多くの他計画が関係していますが、「自転車活用推進計画」だけ用語解説に載せているのはなぜでしょうか。	施策12に「自転車活用推進計画の検討」とあるため載せています。

豊川市総合交通戦略策定に向けた今後のスケジュール



### 3. 【報告事項（3）】令和7年度デマンド型交通実証実験の進捗状況

- ・「おためしカー」利用者向けアンケート調査に加えて、利用しなかった方に向けてのアンケート調査を実施するもの。
- ・実施場所、実施期間、設問（案）は下記のとおり。

#### 【実施場所】

- ・一宮支所
- ・いかまい館

#### 【実施期間】

- ・令和7年2月2日（月）から2月16日（月）まで

#### 【アンケート（案）】

- ・右記のとおり

#### デマンド型交通実証実験「おためしカー」を利用しなかった方へのアンケート

市では、一宮地域の公共交通の課題を解消する新たな移動手段の検討のため、2026年1月13日（火）から1月31日（土）まで、デマンド型交通実証実験「おためしカー」を行いました。このことについて、おためしカーを利用しなかった理由などのご意見を募集します。

アンケート期間：2026年2月2日（月）～2月16日（月）

※ご記入や〇つけをお願いいたします。

※「おためしカー」を利用した方は、このアンケートへのご回答は不要です。

1	ご年齢	歳
2	お住まいの小校区	一宮東部 ・ 一宮西部 ・ 一宮南部
3	性別	女性・男性・左記以外（ ）・回答しない
4	普段の移動手段 （複数回答可）	車 ・ 電車 ・ コミュニティバス本宮線のんほい号 コミュニティバス一宮線・ 豊鉄バス ・ タクシー 自転車・ 徒歩・ その他（ ）
5	おためしカーを利用しなかった理由（複数回答可）  ※おためしカーとは ・自宅から「決められた目的地」(コミュニティバス本宮線のんほい号バス停)まで、 または「決められた目的地」から自宅までの移動が可能。 ・1運行1台300円 ・障害者手帳をお持ちの方または小学生以下の方が利用する場合は半額の150円 ・定員4名 ・電話予約制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おためしカーの存在を知らなかったから</li> <li>・利用方法がわからなかったから</li> <li>・行きたいところへ行けなかったから</li> <li>・予約が面倒だったから</li> <li>・予約が取れなかったから</li> <li>・運賃が高かったから</li> <li>・ほかの移動手段があり、おためしカーを利用する必要がなかったから</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>
6	おためしカーがどのように改善されたら、利用したいと思うか（自由記述）	
7	おためしカーとコミュニティバス本宮線のんほい号のどちらの方がいいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おためしカーの方がいい (理由： )</li> <li>・コミュニティバス本宮線のんほい号の方がいい (理由： )</li> </ul>
8	おためしカーの乗降スポットにしてほしい場所	希望があればご記入ください。一宮中学校区内の場所に限ります。( )
9	ご意見・ご感想(自由記述)	

★ご協力ありがとうございました。記入が難しい場合は、下記の二次元コードからご回答ください。

★回答内容は個人が特定できないように集計し今後の検討や市の会議資料等に使用させていただきます。

(豊川市 都市整備部 市街地整備課 都市交通係 0533-95-0264)

←WEB 回答フォーム

(あいち電子申請)

#### 4. 【協議事項（1）】地域公共交通確保維持改善事業等の評価

地域公共交通確保維持改善事業等について、次のとおり目標の達成状況を評価し、報告してよろしいか協議するもの。

##### 4-1. 地域内フィーダー系統（豊鉄バス新豊線・豊川線に接続する豊川市コミュニティバス）の評価

- ・評価理由：国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業）の交付要綱・要領において、協議会（交通協議会）での補助事業の評価実施を規定しているため。
- ・報告先：中部運輸局愛知運輸支局
- ・報告期限：令和8年1月16日（金）
- ・評価シート（案）：別紙のとおり（下記は評価シート抜粋）

路線名	評価根拠	補助区分	利用者数 (R6.10~R7.9)			収支率 (R5.4~R6.3)			行政負担額 (R5.4~R6.3)		
			目標（人）	実績（人）	達成状況	目標（%）	実績（%）	達成状況	目標（千円）	実績（千円）	達成状況
ゆうあいの里八幡線	要綱・要領 公共交通計画	対象	11,000	12,356	達成	6.0	9.0	達成	19,154	20,100	未達
千両三上線			13,000	12,243	未達	14.8	15.4	達成	13,196	12,460	達成
小坂井線			12,000	9,055	未達	12.8	10.8	未達	12,371	11,941	達成
一宮線	公共交通計画	対象外	15,500	16,445	達成	12.2	7.7	未達	10,170	10,775	未達
音羽線	要綱・要領 公共交通計画	対象	12,500	10,058	未達	11.1	11.2	達成	13,292	12,630	達成
御津線			9,000	7,188	未達	7.7	7.6	未達	14,760	12,546	達成
音羽地区地域路線	公共交通計画	対象外	10,000	10,470	達成	10.9	12.5	達成	12,998	12,062	達成
御津地区地域路線			3,000	3,151	達成	5.2	4.7	未達	10,134	10,193	未達
一宮地区地域路線	要綱・要領 公共交通計画	対象	5,500	3,381	未達	9.9	7.1	未達	9,271	9,009	達成
御油地区地域路線	公共交通計画	対象外	8,500	4,593	未達	10.0	7.2	未達	11,323	11,028	達成
合計	公共交通計画	—	100,000	88,940	未達	10.0	9.6	未達	126,667	122,740	達成

補助対象は、豊鉄バス新豊線・豊川線に接続する系統のみ。

(分析)

- ・利用者数……全体では、利用者回復の遅れ（新型コロナウイルス感染症関連）により目標未達。ゆうあいの里八幡線は、令和3年10月の路線再編により、旧・ゆうあいの里小坂井線の姫街道以北のルートを引き継いだことが寄与し、目標達成。一宮線は、温泉施設の最寄りバス停の利用が増加したことが寄与し、目標達成。音羽地区地域路線は、コロナ禍からの回復が持続し、目標達成。御津地区地域路線は令和5年3月の路線及び運行ダイヤを見直したことが寄与し、目標達成。
- ・収支率……全体では、利用者回復の遅れ（新型コロナウイルス感染症関連）により目標未達。ゆうあいの里八幡線は、令和3年10月の路線再編により、旧・ゆうあいの里小坂井線の姫街道以北のルートを引き継いだことが寄与し、目標達成。千両三上線は、ルートの変更により利用者数が増えたことが寄与し、目標達成。音羽線は、路線再編に伴い走行距離を短縮したことが寄与し、目標達成。音羽地区地域路線は、路線再編に伴い走行距離を短縮し、運行経費を削減できたことと、目標並みの利用実績があったことから目標達成。
- ・行政負担額……全体では、路線再編に伴い走行距離を短縮したことや運行経費の増加率が想定以下であったことから、目標達成。ゆうあいの里八幡線は、路線再編に伴い走行距離を延長したため目標未達。御津地区地域路線は、道路工事に伴う走行距離が増加したため目標未達。

(改善策)

- ・バス利用率が低い地域の対策検討
- ・アンケート調査結果の分析に基づく改善策の検討
- ・新規利用促進策の検討・実施

※1 収支率＝（運賃収入＋車両広告掲載収入）／運行経費

※2 行政負担額＝運行経費－運賃収入

#### 4-2. 地域間幹線系統の評価（参考）

- ・評価理由：国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業）の交付要綱・要領において、協議会（愛知県公共交通協議会バス対策部会）における補助事業の評価実施を規定しているため。
- ・報告先：協議会（愛知県公共交通協議会バス対策部会）
- ・報告状況：令和7年12月10日（水）報告済。
- ・評価シート：別紙のとおり（下記は評価シート抜粋）

路線名	系統名	評価根拠	補助区分	利用者数 (R6.10~R7.9)			《参考数値》輸送量実績（単位：人）				
				目標（人）	実績（人）	評価	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
新豊線	—	要綱・要領	対象	176,959	149,055	B1	34.7	27	43.2	35.8	39
豊川線	体育館前（注）			58,663	49,159	B1	14.5	15.3	27.6	31.2	29.2
	イオン病院			110,383	103,843	B1	38.7	34.8	33.2	27.8	33.6
	イオンモール豊川			66,284	68,394	A	22.4	15.1	29.6	30	34.7
豊川線	体育館前（注）	—	対象外	—	—	—	—	—	—	—	
	豊川体育館豊川駅前	—		—	—	—	—	—	—	—	
	体育館イオン	—		—	—	—	—	—	—	—	
	体育館市民病院	—		—	—	—	—	—	—	—	
合計		公共交通計画	—	—	—	—	—	—	—	—	

補助対象は、複数市町にまたがって運行し、輸送量15人～150人等の要件を満たす系統。

#### ※評価の凡例

- A：年間目標利用者数を達成できた場合
- B1：年間目標利用者数を達成できなかったものの、目標の75%以上の利用があった場合
- B2：年間目標利用者数を達成できなかったものの、目標の50%以上の利用があった場合
- C：年間目標利用者数が目標の半数に満たなかった場合

（注）豊川線（体育館前）は、大型商業施設開業に伴う路線延伸後は補助対象、延伸前は補助対象外。

#### （分析）

- ・利用者数の目標は豊川線（イオンモール豊川）のみ達成している状況であるが、豊川線（体育館前）を除き各路線の利用者数は前年度よりも増加しており、大型商業施設への延伸に伴う定期外利用の増加が続いている。豊川線（体育館前）は、複合商業施設内のスーパーのテナント入れ替えに伴う一時閉店の影響等が要因と考えられる。

#### （改善策）

- ・事業者及び沿線市と連携し、コミュニティバス等との乗継案内を拡充。

4-3. 地域公共交通計画の評価

- ・評価理由：地域公共交通の活性化及び再生に関する法律において、協議会（交通協議会議）での地域公共交通計画の評価実施を規定しているため。
- ・報告先：中部運輸局、総務省
- ・報告期限：令和8年1月16日（金）
- ・評価シート（案）：別紙のとおり（下記は評価シート抜粋）

別添4

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

豊川市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年10月～令和7年9月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通機関利用者数	鉄道以外の合計 令和7年度：980,000人/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹路線の改善・運行</li> <li>・地域路線の改善・運行</li> <li>・交通結節点の整備</li> <li>・バス停の待合環境改善</li> <li>・新たな料金体系制度の導入</li> <li>・新たな料金支払方式の導入</li> <li>・公共交通案内の充実</li> <li>・周知・広報活動の実施</li> <li>・利用促進活動等の実施</li> <li>・事業評価の実施</li> <li>・新規移動手段の導入検討</li> </ul>	①+②+③ により算出	実績：798,301人/年（未達） 新型コロナウイルス感染症の5類移行や大型商業施設への路線延伸により利用者数が増加したものの、利用者回復の遅れにより目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。</li> <li>・沿線市町で連携し導入支援を行った、豊鉄バス全線への交通系ICカードについて周知活動を継続。</li> </ul>	
	①コミュニティバス 令和7年度：100,000人/年 (R6.10～R7.9)		交通事業者の有する利用実績より算出	実績：88,940人/年（未達） 新型コロナウイルス感染症の5類移行や大型商業施設への路線延伸により利用者数が増加したものの、利用者回復の遅れにより目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。</li> <li>・新規利用促進策の検討・実施。</li> <li>・路線の見直しを検討。</li> </ul>	
	②豊鉄バス新豊線・豊川線 令和7年度：400,000人/年 (R6.10～R7.9)		交通事業者の有する利用実績より算出	実績：376,630人/年（未達） 大型商業施設への路線延伸により、買い物目的の利用者が増加したものの目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線市町で連携し導入支援を行った、豊鉄バス全線への交通系ICカードについて周知活動を継続。</li> <li>・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。</li> </ul>	
	③豊川市内タクシー 令和7年度：480,000人/年 (R6.4～R7.3)		交通事業者の有する利用実績より算出	実績：332,732人/年（未達） 新型コロナウイルス感染症による利用者の減少からの回復の遅れにより目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー事業者と連携し、新規移動手段を検討。</li> <li>・運転免許証の自主返納者に対するタクシー券の配布を継続。</li> </ul>	
	主要な鉄道駅の1日あたりの乗車人数 令和7年度：20,000人/日 (R6.4～R7.3)		交通事業者の有する利用実績より算出	実績：19,462人/日（未達） バスやタクシーよりも新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少なく、コロナ禍前の9割程度まで利用者回復したものの目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性向上のため、駅周辺整備を推進。</li> </ul>	
コミュニティバス年間収支率 令和7年度：10.0% (R6.4～R7.3)		市が有するデータより算出	実績：9.5%（未達） 新型コロナウイルス感染症の5類移行や大型商業施設への路線延伸により利用者数が増加したものの目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。</li> <li>・利用促進策の検討・実施。</li> <li>・路線の見直しを検討。</li> </ul>		
コミュニティバス行政負担額 令和7年度：126,667千円/年 (R6.4～R7.3)		市が有するデータより算出	実績：122,740千円/年（達成） 路線再編に伴い、利用状況に応じて走行距離を短縮し、運行経費を削減したことにより目標達成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河地域で連携し、夏休み小学生50円バス等の利用促進企画を継続。</li> <li>・利用促進策の検討・実施。</li> <li>・路線の見直しを検討。</li> </ul>		
バス停・駅勢圏等カバー率 令和7年度：70.0% (R7.9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹路線の改善・運行</li> <li>・地域路線の改善・運行</li> <li>・新規移動手段の導入検討</li> </ul>	市が有するデータより算出	実績：65.2%（未達） 大型商業施設への路線延伸を行ったものの、利用の少ないバス停を廃止したことや、新規移動手段の導入がなかったため、目標未達。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線の見直しを検討。</li> <li>・新規移動手段の検討を継続。</li> </ul>		

※3 主要な鉄道駅……………JR（小坂井駅、豊川駅、三河一宮駅、西小坂井駅、愛知御津駅）、名鉄（伊奈駅、国府駅、名電赤坂駅、八幡駅、諏訪町駅、豊川稲荷駅）

※4 バス停・駅勢圏等カバー率…バス停・駅等から半径300mの範囲内の居住人口割合